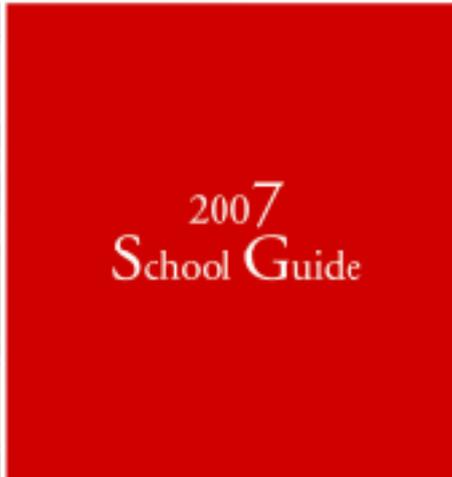




情報学群

知識情報・図書館学類

図書館情報専門学群（3年次編入）



College of Knowledge and Library Sciences, School of Informatics & School of Library and Information Science

知的共有社会と 知識技術の創造

人間社会は、知識を情報として記録し、蓄積し、それを基盤として新しい知識を発展させるというユニークで重要な力を発揮してきました。この力こそが人類に文化と文明をもたらしたもののなのです。

そこでは図書館が重要な役割を果たしてきました。しかし現代は、これに加えて、デジタル情報、インターネット、携帯電話などの新しい世界が共存し、激しく変化しています。今まさに、新しい時代のニーズに応えられる人材が必要とされています。

知識情報・図書館学類は、この時代にあって、情報を通じて社会の知識共有を支え推進する専門家、先端的図書館をリードする専門家、知識共有についての技術と専門的知識を持って社会で活躍する多様な人材を育成します。

私たちは、知的探求心、自分の力を高め発揮したい意欲、人々を支えることに喜びを見いだす心にあふれた皆さんを心から歓迎します。



目次

学ぶ	2~4
入試	5
進路	6~7
学生生活Q&A	8~9
先輩から	10~12
3年次編入(図書館情報専門学群)	13~15
春日キャンパスの施設・設備	16~17

筑波大学
天久保
キャンパス

筑波大学
春日
キャンパス

Thanks:
表紙デザイン協力 照山 祐一 (図書館情報専門学群)
スナップ写真撮影協力 柗 和佑 (大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程)
鈴木小百合 (図書館情報専門学群)

学ぶ

■ 知識情報・図書館学類とは？

みなさんは何かについて知りたいと思ったとき、どうしていますか？ 周りにある情報の多さに困惑していませんか？ 知識情報・図書館学類は、情報化社会に生きる私たちが知識や情報を有効に活用するための様々な仕組みについて教育します。そこには、社会に息づく図書館もあれば、広大なインターネットの世界、膨大な情報やデータの利用や分析、未来への知識や情報の伝達などが含まれています。

膨大な知識と情報を有効に活用するためには、知識と情報の性質を的確にとらえ、それらをつかおう情報システムを設計・構築する必要があります。さらに、知識と情報をつかおう社会システムを創るためには、制度や文化、運営について考えなければなりません。知識情報・図書館学類では、これらの課題について「知識科学」、「知識情報システム」、「情報経営・図書館」の3つの主専攻が協力して教育し、知識情報と社会をつなぐ人材を育成します。

■ 知識科学主専攻はどんなところ？

知識科学主専攻は人間に注目します。現代社会は知識と情報を原動力として発展しています。そのため、現代社会に生きるわれわれには、知識や情報の共有を推進し、共有された知識や情報を活用する能力が求められています。今後、この傾向は強まることはあれ、弱まることはないでしょう。

知識科学主専攻では、知識の本質、知識と情報行動、知識獲得のあり方と方法などを理解し、知識の形式化や探索・収集技術、伝達方法、知識と情報の仲介技術、データを分析的・解析的にあつかって知識を抽出する手法などを修得します。



■ 知識情報システム主専攻はどんなところ？

知識情報システム主専攻は情報技術に注目します。インターネットに代表される情報技術の進歩により、人類はかつてない膨大な知識と情報を共有しています。この知識や情報を有効に活用するためには、効率よくあつかうための高度な技術が不可欠です。

知識情報システム主専攻では、知識情報の分類や構造化、Webにおける知識情報の提供と共有技術、多様な知識情報の表現と管理のためのデータベース技術、知識情報から有益な情報を取り出す情報検索技術、デジタルライブラリをはじめとする知識情報システムの実装技術などを修得します。

■ 情報経営・図書館主専攻はどんなところ？

情報経営・図書館主専攻は社会に注目します。私たちが何かについて知りたいと思ったとき、広汎な情報を蓄積・整理し、提供してくれる環境が身近にあれば、適切な情報を利用することができます。そのような情報環境を整備するとともに、情報環境にかかわる社会的制度を整えていくことは社会の発展に不可欠です。

情報経営・図書館主専攻では、図書館をはじめとする情報サービス機関・組織・コミュニティにおいて、知識情報の蓄積・管理・提供サービスを企画・運営していくための知識や経営手法、知識情報の社会的制度を設計・構築・運営するための知識、多様な情報メディアの特性やその背後にある歴史・文化などを修得します。

■ カリキュラム

知識情報・図書館学類のカリキュラムは右上図のようになっています。1年次には、総合科目や外国語、体育などの基礎科目に加えて、知識情報、情報システム、情報社会の法制度などについての概論や、プログラミング演習・統計などの専門基礎科目を通して、基礎的知識や技術を学びます。2年次には、1年次に得た知識や技術をさらに深めていくため、主要なテーマごとに設定された講義と技術を修得する知識情報演習などからなる専門基礎科目を履修します。3年次にな

教職に関する科目

学群共通科目

☆は必修科目

基礎科目		専門基礎科目		専門科目		☆主専攻実習・☆専門英語 III IV	☆卒業研究		
☆第1外国語 ☆総合科目A ☆フレッシュマンセミナー ☆体育 ☆第2外国語	[知識情報概論及び演習] ☆知識情報演習 I, II, III [統計とその応用] 量的調査法, 多変量解析 [語学] ☆専門英語 I, II [テキストの理解] テキスト解釈 [教養の錬成] 知的探求の世界 I, II [知識と人間] 知識探索論 質的調査法 情報行動論 知識発見基礎論 [知識とシステム] 知識資源組織化論 データベース概説 コンピュータシステムとネットワーク 自然言語解析基礎 [知識と社会] メディア社会学 生涯学習と図書館 公共経済学 経営・組織論	[専門知識(共有)] 特許情報論, 医療情報論, テクニカルコミュニケーション サイエンスコミュニケーション [知識共有] 知識形成論, 知識論, レファレンスサイエンス [知識行動] システム思考とモデリング, 学術メディア論, コミュニティ情報論 図書館環境計画論 [知識発見] 知識構造化法, 知識構造表現, 計量情報学 [数理知識] データマイニング, 新計算パラダイム論, ビジュアルデータマイニング	[情報システムの原理] グリッドコンピューティング, ソフトウェア構成, データ構造とアルゴリズム テキスト処理, マークアップ言語 [知識情報の組織化] 知識資源の記述, 知識資源の分析, 知識資源の用語管理 [知識情報システムの設計] ソフトウェア工学, データベース技術, データ表現と処理 情報デザインとインタフェース, ヒューマンインタフェース [知識情報システムの実装] マルチメディアシステム, 情報検索システム, Webプログラミング [知識情報システムの実際] デジタルライブラリ, デジタルドキュメント, 情報サービスシステム	[知識情報環境の構築] 経営情報システム論, 公共図書館論, 学術基盤論 [知識情報サービスの経営] 情報サービス経営論, 情報経済論, パブリックガバナンス論 [知識情報サービスの構成] 情報サービス構成, コレクションとアクセス [知識情報の社会化] 教育文化政策, 学校教育と情報利用, メディア教育と発達 [知識情報の規範] 情報法, 知的財産権論, 図書館情報法制度論 [図書館と書物の文化] 図書館文化史論, 古文書論, 日本図書館学, 中国図書館学 [メディア社会と情報文化] メディア社会文化論, 社会情報学, 出版文化・書誌論	[情報経営・図書館主専攻] [学類共通]			☆主専攻実習・☆専門英語 III IV	☆卒業研究
専門基礎科目	[情報リテラシ] ☆情報基礎 ☆情報基礎実習 ☆情報リテラシ実習 [知識情報概論及び演習] ☆知識情報概論 [プログラミング基礎] ☆プログラミング演習 I, II [論理と数学] ☆情報数学, ☆論理学 基礎数学 I, II [統計とその応用] ☆統計 [知識とシステム] 情報システム概説 [知識と社会] 情報社会と法制度	[情報経営・図書館主専攻] [学類共通]	[知識情報環境の構築] 経営情報システム論, 公共図書館論, 学術基盤論 [知識情報サービスの経営] 情報サービス経営論, 情報経済論, パブリックガバナンス論 [知識情報サービスの構成] 情報サービス構成, コレクションとアクセス [知識情報の社会化] 教育文化政策, 学校教育と情報利用, メディア教育と発達 [知識情報の規範] 情報法, 知的財産権論, 図書館情報法制度論 [図書館と書物の文化] 図書館文化史論, 古文書論, 日本図書館学, 中国図書館学 [メディア社会と情報文化] メディア社会文化論, 社会情報学, 出版文化・書誌論	[情報経営・図書館主専攻] [学類共通]	☆主専攻実習・☆専門英語 III IV			☆卒業研究	
1年次	2年次	3~4年次	4年次						

ると3つの主専攻のいずれかに属して、専門科目を履修します。多様な視点の育成のため、所属する主専攻の専門科目だけでなく、他の主専攻の専門科目も履修することが要求されます。4年次には、研究室に所属して卒業研究を行います。資格取得をめざす人のために、教職及び司書教諭、司書の科目も並行して開講します。

■特色のある科目

新入生の大学への適応を支援する「フレッシュマンセミナー」に引き続き、文章を読む、まとめる、議論する、発表するなどの基礎能力を養う「情報リテラシ実習」を開講しています。また、文理融合型のカリキュラムを展開し総合的な能力を育てるとともに、2年次と3年次には必修の演習を開講し、知識と技術の確実な定着を目指します。さらに、実社会での専門的な

職業体験ができるよう、図書館や企業における「インターンシップ」を開講します。



■卒業研究はどんなことをやるの？

4年次の卒業研究では、知識や情報に関する専門性に加えて、社会に出て役立つ基礎的なスキルを修得します。はじめに自分の関心のある研究テーマを見つけ、その研究テーマに関する文献を読み、新しいシステムを作ったり、調査を行ったりすることを通して、様々な発見をします。このような過程や研究成果をまとめるなかで、知識や情報に関する専門性は深められます。また、社会に出て役立つプレゼンテーション能力、論理性、文章力などがきたえられます。卒業研究の枠組、経過報告、最終的な成果などを報告する発表会があるため、限られた時間の中で効果的にプレゼンテーションを行う工夫をし、実際に質疑応答も経験します。卒業論文の執筆の過程では、論理的に説明する力や文章力が培われます。

■卒業研究の例

(2005年度図書館情報専門学群の卒業研究から)

- マニュアルにおける複合的ビジュアル手法の種類
- 日常生活における情報行動とメディアの関連性
- 異文化コミュニケーションの考察：
在日中国人のライフヒストリーを通して
- 意思の弱さ（アクラシア）について
- 正方形マップの自己組織化学習アルゴリズムについての検討
- 量子アルゴリズムの研究：幾何学的観点から
- 紙芝居の索引方法の研究
- 電子ジャーナルの普及が印刷版学術雑誌の所蔵に及ぼす影響：
受け入れタイトル数とILL件数の変化
- 多様な視点からのアクセスを可能にするデジタルライブラリの構築：
アジア動向年報を対象として
- Webサービスを用いた図書館システム機能の拡張
- 頭字語ネーミングの計算機によるモデル化
- 意思決定支援のための主観情報マイニング
- 異言語話者間インスタント・メッセージ・システムの実現方法の研究
- グラフにおける数値データ自動認識システムの開発
- 3次元グラフィクスへのトゥーンレンダリング実装システム
- コンパイラフロントエンド生成系
- NDCとBSHを用いたOPAC主題検索支援システム
- 学術情報流通における機関リポジトリの役割
- 公立図書館における電子資料の提供と利用
- 日本の公共図書館におけるレファレンスサービスの発展と課題
- ‘つくば仮想図書館’構想についての調査研究
- 親子のための地域の読書活動場づくり：子ども文庫の実践をとおして
- 初等教育における図書館活用能力育成
- 学校図書館の学習スペースに対する図書館と利用者の意識の違いについて
- 公共広告の現状とその背景
- トヨタ・日産・ホンダから見る経営について：戦後から現在
- 伊達吉村家集『隣松集』の研究
- 『世説新語』でそれぞれの話の元にされている書物との引用傾向について
- 偽造カード犯罪における各金融機関の取り組みとその法整備について
- 著作権法から見る同人誌の違法性の有無



研究室訪問～図書館情報メディア研究科 鈴木 佳苗講師～

私の研究室では、公共図書館・学校での読書活動の実態に関する研究、読書やインターネットなどのメディア利用の影響に関する研究、メディアを利用したワークショップの実践といったメディア教育に関する研究を行っています。研究テーマによっては、大学外で研究を行う学生もいます。たとえば、ブックスタート（0歳児健診の機会に赤ちゃんと保護者に絵本を手渡す運動）の実態を調べるために、保健センターを訪問して担当者や保護者にインタビューする研究、読書活動の盛んな学校を訪問して子どもたちの読書活動の様子を観察する研究、茨城県内の図書館でコンピュータを使ったワークショップを開催し、地域でのワークショップ開催の可能性を検討する研究などがあります。学外の機関に協力を依頼する場合には、事前に協力依頼の手紙を出したり、その機関の希望や状況を考慮してスケジュールや研究内容を調整することがあるのですが、このような経験が社会に出てから役に立つこともあるようです。

知識情報・図書館学類には、皆さんが1年間をかけて取り組みたいと思うような魅力的な研究テーマがたくさんあると思います。ぜひその中から、「これだ！」と思う研究テーマを見つけてください。



入試

大学説明会 2006年7月28日(金)

実際の大学を知るにはこれが一番。受験前に大学のことを知れば勉強意欲もわいてくる。

<p>一般入試 大学入試センター試験と本学が実施する個別学力検査に基づく選抜(分離・分割方式) 募集人員 前期日程60名 後期日程15名</p>	<p>前期日程はオールラウンドな人向け 選抜科目(地歴・公民・理科)と数学、外国語、センター試験。数学は数Ⅱと数Bでも受験できる。 後期日程は広い視野と独創性を重視 センター試験と小論文。競争率は高いが小論文で自分の考え方をしっかりまとめるのがポイント。</p>
<p>推薦入試 高等学校長の推薦に基づく選抜 募集人員20名</p>	<p>論理的思考力とリーダーシップ 小論文では、論理的に考え、それをきちんと表現できるかが重要。 グループ面接では自分の考えをはっきり伝えること、説得力、リーダーシップがポイント。</p>
<p>AC入試 自己推薦に基づく選抜 募集人員5名</p>	<p>自分自身の課題でトライ 自分で見つけた課題に自ら取り組み、その成果を自己推薦書として提示。 未知の課題を発見し、解決する能力をどれだけアピールできるかがポイント。</p>
<p>外国人留学生特別選抜 日本留学試験(文科系または理科系)と小論文、面接による選抜 募集人員 若干名</p>	<p>知識と情報について学ぶ意欲と日本語能力 小論文は日本語で論理的に表現ができるかがポイント。 面接には知識と情報について学びたいという意欲をもって臨むことが大切。</p>

2007年4月入学者用. 日付は2006年9月から2007年3月の間

試験	募集人員	出願期間	試験日	合格発表	入試科目
AC入試	5名	9月頃	10月	10月	第一次…書類選考、第二次…面接(募集要項は6月公表予定)
推薦入試	20名	11月頃	11月	12月	小論文と面接(集団方式)
大学入試センター試験	-	10月頃	1月	-	国語 国語 数学 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1 外国語 英(リスニングテスト含む)、独、仏、中、韓から1 ① 地歴 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bから1 公民 現社、倫、政経から1 理科 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1 [6教科7科目] ② 地歴 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 公民 現社、倫、政経 理科 理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから2 [5教科7科目]
個別学力検査 前期日程	60名	1月頃	2月	3月	数学 数Ⅱ・数B、数Ⅱ・数C、数Ⅲ・数B、数Ⅲ・数Cから1 外国語 英Ⅱ・リーディング・ライティング、独、仏から1(事前選択) 地歴 世B、日B、地理Bから1 公民 倫 理科 物Ⅰ・物Ⅱ、化Ⅰ・化Ⅱ、生Ⅰ・生Ⅱ、 地学Ⅰ・地学Ⅱから1 } 1教科選択(事前選択)
個別学力検査 後期日程	15名	1月頃	3月	3月	小論文
外国人留学生特別選抜	若干名	1月頃	2月	3月	日本留学試験(文科系又は理科系)、小論文、面接

詳細は必ず「筑波大学入学者選抜に関する要綱」及び「筑波大学学生募集要項」(2006年9月公表予定)を参照してください。大学入試センター試験においては、①または②を選択してください。

問い合わせ先 筑波大学 学務部入試課入試第一係 電話 029-853-6007

進路

■「自分にマッチ」したフィールドを！

知識情報・図書館学類の魅力は、文理融合型カリキュラムによって、知識と情報、人間、社会に関する基礎的な知識と技術を広く学びながら、自分が深めたいと思う専門領域を見つけられるところにあります。大学4年間を通じて、知識情報にかかわる広大な世界に触れることは、みなさんの可能性を広げることになるでしょう。知識情報・図書館学類では、隠された自分の可能性を発見し、「自分にマッチ」したフィールドにたどり着くことができます。

■進学

本学はもとより、他大学や海外の大学院に20%ほどの卒業生（図書館情報専門学群）が進学しています。本学類の教員が所属している大学院として、2年間の博士前期課程（修士課程）と3年間の博士後期課程（博士課程）からなる図書館情報メディア研究科があります。図書館情報メディア研究科には推薦入学の制度があるので、学類での成績が優秀なら早い時期から自分の進路を定めることもできます。進学後はいろいろな専門分野を学んできた多数の大学院生とともに切磋琢磨し、より高度な知識と技術の修得、先端的な研究を行います。こうして身

につけた能力を活かして、博士前期課程修了後にはより高度な専門性を必要とする職業に就けます。さらに博士後期課程へ進み、大学教員や研究者を目指す道もあります。また、図書館情報メディア研究科では夜間や土曜日に学習・研究ができるように、東京キャンパス（茗荷谷）に東京サテライトを設けていますので、社会人として仕事をしながら大学院で研究を続けることもできます。

■就職

知識情報・図書館学類の3つの主専攻において専門的な知識と技術を修得する過程で、きっと「自分にマッチ」したフィールドを見つけることができるでしょう。また、基礎教育を重視したカリキュラムは、将来、多様な分野で活躍できる下地を整えます。

知識情報・図書館学類には40以上の研究室があります。これらの研究室の卒業生は、右図のような様々な分野で活躍しています。それらは、シンクタンクや出版社などの「情報を生み出す、調査する」職業、IT企業を中心とした「システムを開発する、提案する」職業、法人職員や公務員など「サービスを人に提供する」職業、図書館職員など「情報を人に提供する」職業などに大別できます。

今後ますます、知識の本質を理解したエンジニアや



研究室訪問～図書館情報メディア研究科 藤井 敦助教授～

大学院はどんなところ？

教科書に載っていて答も分かっていることを学ぶだけでは世の中は進歩しません。大学院では、大学で吸収した知識と考え方を活かして、「教科書に載っていないこと」を学び、「答が分かっていない問題」に挑戦します。まだ解決されていない研究テーマに取り組み、自分で考えて行動し、その達成度によって評価されます。世界中の研究者がライバルになるガチンコ勝負です。どうです、やり甲斐

があるでしょう？

私の研究室では、テキストや音声を対象とした情報処理の研究をしています。情報検索、機械翻訳、音声認識などについて、基礎理論の研究から応用システムの開発まで行っています。大学院生は、研究の進め方、論文の書き方、プレゼンテーションの仕方、プログラミング技能などを学んで修了していきます。修了後の進路には、企業のエンジニアや大学の教員などがあります。博士後期課程に進学して博士号の取得を目指すことも可能です。

「自分にしかできないテーマ」、「自分ならできるテーマ」と出会い、それを解決する過程で、自分自身の新しい可能性を見つけてください。

企画経営能力を有する開発者など、多様な視点を持てる人材が必要とされるでしょう。知識情報・図書館学類では、このような人材の育成を目指し、積極的にサポートします。

■資格取得と採用試験に対するサポート

将来へのきっかけとして、大学在学中に資格取得を考えてみるのもいいでしょう。資格取得はスキルアップにもなりますし、自分への自信にもつながります。将来、どのような職に就いても、「知識」と「経験」はかならず力になります。

知識情報・図書館学類では司書資格、司書教諭資格、教員免許状が取得できます。司書教諭資格は、司書教諭科目を履修し教員免許状を取得することで取得できます。教員免許状は、中学校教諭一種免許状（社会・数学）と高等学校教諭一種免許状（公民・数学・情報）を予定しています。

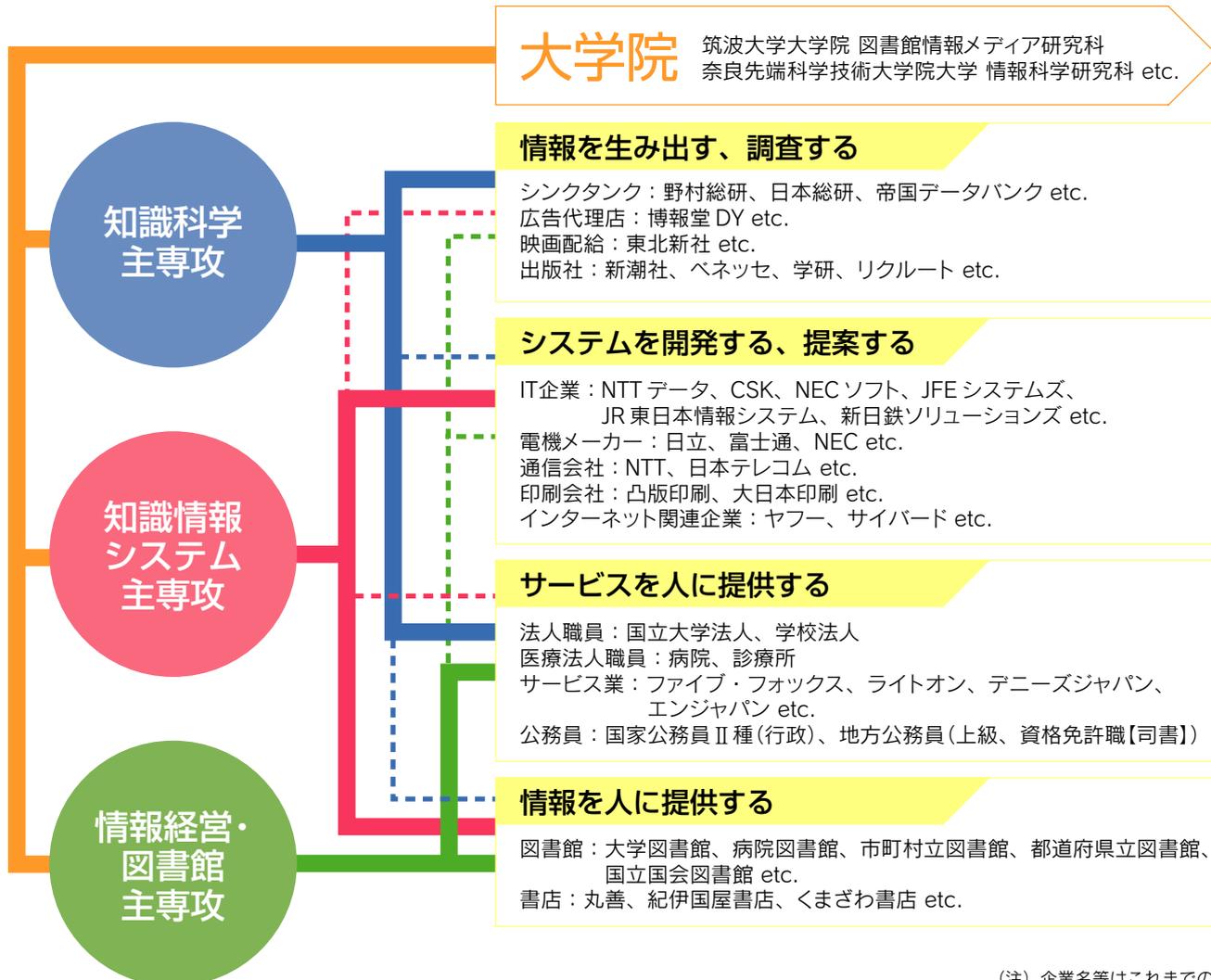
また、自分の可能性を広げるため、TOEIC（Test of English for International Communication）や TOEFL

（Test of English as a Foreign Language）、初級システムアドミニストレータ試験、基本情報処理技術者試験、経営学検定試験（初級）などの受験を積極的に勧めています。

なお、公務員採用試験受験者のため、独自の教養試験対策を行なっています。2005年度の場合、3年次の9月から4年次の6月にかけて、合計35回（11月までは隔週、12月以降は毎週）の模擬試験を実施しました。また、公務員採用試験1次試験の合格後には、2次試験の面接に向けたアドバイスなど、きめ細かなサポートを行っています。



卒業生の主な進路



(注) 企業名等はこれまでの実績

学生生活Q&A

Q 学類のホームページは？

A 学類のホームページは、<http://klis.tsukuba.ac.jp/>です。学生生活に関する様々な情報を提供していますので、アクセスしてみてください。

Q 学生宿舎はありますか？

A 春日キャンパス内に春日学生宿舎があり、知識情報・図書館学類の新生は優先的に入居できます。全室個室、家具付き、レンタル電話のほか、LANの設備もあります。寄宿料4,300円と共益費7,340円で月額11,640円（2006年4月1日現在）です。これにプラスして個室電気料が2,000円程度かかります。また、徒歩15分～20分のところに、追越学生宿舎と平砂学生宿舎があります。



Q アパートは紹介してもらえますか？

A 大学では、キャンパスの近くにたくさんある学生向きアパートの資料を提供しています。台所と6畳の和室で3～5万円程度で、徒歩や自転車で通える範囲から探すことができます。また、地元ミニコミ誌が毎年秋に最新のアパート情報が満載された小冊子を出しています。

Q 入学金と授業料は？

A 2006年度の場合、入学金は282,000円、授業料は年間535,800円です。

Q 授業料免除の制度はありますか？

A 全額免除と半額免除があります。2005年度図書館情報専門学群の場合、全額免除者は各学年1～7名、半額免除者は6～14名でした。

Q どんな奨学金がありますか？

A 日本学生支援機構による奨学金制度があり、無利息の第一種奨学金と利息つきの第二種奨学金があります。

2006年度の場合（月額）

● 第一種奨学金

[自宅通学者] 45,000円

[自宅外通学者] 51,000円

● 第二種奨学金

30,000円、50,000円、80,000円、100,000円

（希望額を選択）

その他にも各種奨学金制度があります。

Q 奨学金はもらいやすい？

A 2005年度図書館情報専門学群の場合、日本学生支援機構第一種の奨学生は各学年20～30名、第二種は25～37名でした。

Q 授業時間はどのくらいですか？

A 1時限は75分で、休憩時間が15分です。昼休みは50分あります。1時限目は8:40に始まります。

Q 授業のある日は？

A 土日は休みです。3学期制で4～6月が第1学期、9～11月が第2学期、12～2月が第3学期です。7～8月の夏休み、年末年始の冬休み、3月～4月始めの春休みのほかに11月末に秋休みがあります。春日キャンパスの教室は冷暖房完備です。

Q 休日に図書館や実習室が使えますか？

A 利用時間は、図書館が9:00から22:00（土日10:00から18:00）、春日キャンパスの実習室が8:30から22:00（土日10:00から18:00）で、休業期間中には短縮されます。春日キャンパス外の図書館や実習室も利用できます。なお、コンピュータシステムは基本的に年中無休でいつでも利用できます。

Q 自宅やアパートからコンピュータが使えますか？

A CATVやADSLなどでインターネット接続している場合、学外からでもコンピュータシステムが使えます。また、電話やPHSからコンピュータシステムを使うためのアクセスポイントも用意されています。

Q 個人のWWWページを作れますか？

A 全員が電子メールアドレスを持ち、個人の WWW ページを設けて公開できます。



Q どんなコンピュータが使えますか？

A 学生全員が使うコンピュータシステムでは MS-Windows と Linux の両方が使えます。

Q 健康相談はできますか？

A 保健管理センターがあり、けがや病気などに対応できる体制になっています。また、学生生活で生じた不安や悩みなどは、カウンセリングを専門とする先生に気軽に相談できます。

Q スポーツや文化活動の施設は？

A 筑波大学には様々な施設がありますが、春日キャンパスには多目的グラウンド、体育館、テニスコート（4面）、屋外プール、弓道場などのスポーツ施設があります。また文化系サークルのスペースとして共用室や和室があります。

Q どのようなサークルが活動していますか？

A 筑波大学には 100 をこえる課外活動団体があります。春日キャンパスでは図書館情報大学時代からのサークルが主に活動しています。

Q 学食や売店はありますか？

A 春日キャンパス内にも学食と売店（書籍・文房具）があります。

Q 大学構内の移動は？

A およそ 10 分間隔で運行している路線バスを使って大学中央や他学群に移動します（平日 8:00 ~ 21:00 は 10 分間隔）。筑波大生は年間 4,200 円の学割定期券で、つくばセンターから大学構内にかけて自由に乗り降りできます。また、自転車で移動する学生も大勢います。

Q 新入生の時間割は？

A たとえば 1 年次の 1 学期はこんな時間割になります（予定）。

	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
月	総合科目 A		知識情報概論			フレッシュマンセミナー
火	情報基礎実習		中国語	英語		
水	情報数学					
木		教育心理学	中国語	英語 I		
金	情報基礎		体育		英語	

Q 交通の便はよいですか？

A 春日キャンパスから徒歩 10 分のかづま駅からは、つくばエクスプレスで秋葉原まで 45 分、高速バスで東京まで約 90 分から 110 分です。また、羽田空港、成田空港へのバスもあり、どちらも 100 分ほどです。

Q 近くで買い物ができますか？

A 春日キャンパスから徒歩 10 分のかづまセンター（つくば駅）には、茨城県内最大のショッピングセンターがあります。



また、コンビニエンスストア、書店、スーパー、百貨店、家電量販店なども近くにあり、買い物にはとても便利です。

Q 近くに文化施設はありますか？

A 春日キャンパスから徒歩で数分のところにプラネタリウムや県立美術館、市立図書館などがあります。



Q 新入生の 1 日は？

A 新入生はこんな 1 日を過ごしています。

7:00 目覚まし時計が鳴る。まだ眠いが二度寝が怖いので起床

7:20 朝食は簡素に。朝から料理するのは無理

8:30 宿舎から教室までは 3 分ほどだが、余裕を持つにはこのくらいに出ないと……

8:40 1、2 時限、情報基礎実習

10:40 今日の実習項目とレポート終了。早く終わったら帰っても良いのがこの科目の良い所だ

11:00 早めの昼食。今日は友人と学食で食べよう

12:15 3 時限目は中国語。外国語と体育、そして総合科目は別のキャンパスで受けるので、自転車は手放せない

13:45 4 時限目、英語

15:15 宿舎に帰り着く。今日の 5、6 時限目は空き時間。明日のサークルコンパに持っていく料理を一品作っておこう

17:15 料理は上出来。サークルに行く前に風呂に入っておこう

18:15 さて、サークルだ。もうすぐ公演だからがんばらないと

20:30 今日はいつもより早く終了。帰る前に買い物だ

21:15 買い物を終えて帰宅

22:40 宿舎の仲間と話をしながら夕食。それから、英語の宿題。英作文は何について書こうかなあ

23:30 寝る前にちょっとだけパソコンを立ち上げて WWW の日記を更新。宿舎に LAN 回線が通っているので便利

0:00 就寝。明日も 1 日ががんばろう……

先輩から



小野 永貴 ONO Haruki

図書館情報専門学群1年

情報教育に興味があり、様々な活動をしてきた私はAC入試に合格して入学しました。入学後も、これまでの活動の過程や課題解決のために工夫したことを活かして様々な活動をしたいと思った私は、学園祭実行委員会で「学園祭生中継プロジェクト」を担当し、先進的な映像配信システムを運営しました。また最近ではIT系のベンチャーにも携わり、最先端の動画技術を活用した情報システムの開発をしたりしています。

このように筑波大学は、学生が興味のある活動を積極的にできる素晴らしい環境です。さらに、「知識情報」という学際的分野では、このような多様な活動を行う機会がたくさんあります。

また、ヤル気のある学生を積極的に受け入れてくれるAC入試という体制が整っています。AC入学の学生は、AC懇談会などにより、学類を越えて協力しあいながら活動をしています。少しでも積極的な活動をしてきた方、ぜひAC入試に挑戦してみてください！そして、大きな活躍のチャンスを秘めた知識情報・図書館学類で自分を試してみませんか？

最後に、図書館情報学やAC入試に関する情報サイト「図情.com」(<http://www.tojou.com/>)を独自に運営しています。もし興味

常川 真央 TSUNEKAWA Mao

図書館情報専門学群1年

図書館情報専門学群には図書館や情報処理、社会学分野等、様々な分野に携わる優秀な先生方や院生、学生がおり、この学群でしかできない総合的な研究プロジェクトに出会うことが出来ます。

たとえば、私は現在、ハイテク技術による工作キットを用いた児童を対象とするワークショップを図書館で開催するプロジェクトに参加しています。2005年度には、握りこぶしほどの小型のコンピュータを用いて簡単なロボットを工作するワークショップを地域の図書館で行いました。たった数時間の催しですが、子どもたちが夢中になって自分のイメージするロボットを作る姿は今でも目に浮かびます。

この活動に参加して、嬉しいことのひとつは、3・4年生や大学院生の方々との繋がりができた点です。通常の学生生活ではなかなかコミュニケーションをとることができない先輩方からそれぞれの専門分野の話聞くことができ、たった1年間でも随分と知見を広げられたように思います。特にこの学群では研究対象とする範囲が広く、哲学や社会学、建築、情報処理などなど、本当に様々な分野についての話を聞くことができます。

ワークショップのような情報技術・教育学など多様な知識や技術を必要とするプロジェクトを実現したり、様々な専門分野に触れられるのは、この学群ならではの確信しています。みなさんも知識情報・図書館学類で自分の可能性を広げてみてはいかがでしょうか。



図情学群誌「SHIKATO」製作委員会

図書館情報専門学群2年 (文責) 鈴木義実 SUZUKI Yoshimi

私たち学群誌製作委員会は、図書館情報専門学群の学生・教員へ向けて学群誌「SHIKATO」を発行しています。その内容は、学園祭などの特集記事や教員インタビュー、地域情報など、学群生に役立つことすべてにわたります。

そんな活動を行う私たちは2年生を中心とした有志の集まりですが、メンバーの多くは学群の代表やサークルの代表などを掛け持ちしており、多忙を極めている面々です。そうでなくても、大学生は、一般に思われているほどには暇がないものです。授業やレポートに追われて自分の時間が全然とれない、なんてことは珍しくありません。

それでも学群誌を発行し続けているのは、この活動を通して自分では思いもよらなかった経験ができるからです。もちろん、失敗もしましたが、必ず身近な誰かが助けてくれました。これらの経験は私たちの貴重な財産となっています。

だからみなさん、是非、ちょっと新しい何かを始めてみませんか。それが学問の修得とは違った、大学生であることのもうひとつの大きな価値になるはずです。大学はそういった活動の場を自分で作れるところです。もちろん学群誌「SHIKATO」はそんなみなさんを全面的に応援します。



小川 朋子 OGAWA Tomoko

図書館情報専門学群3年

大学では、授業以外でもさまざまな経験の場があります。そのひとつがサークル活動です。筑波大学には多数のサークルがありますが、本学群生にとって最も身近な場所春日キャンパスを中心に活動するサークルもあります。たとえば、バスケット・バレー・バドミントンなど運動系サークルや、児童文学・茶道などの文化系サークル、演劇・写真・フォルクローレなどの芸術系サークルなどがあります。なかでも文科系のストーリーテリング研究会は、図書館で子どもへの読み聞かせを行っていて、本学群ならではの活動を実践しています。

私はULIS_Chorusという合唱サークルに参加しています。春日キャンパスの教室を使うため、授業終了後すぐに活動をはじめられますし、活動仲間とは、授業などの共通会話が多く親しみやすいのも良い点だと思います。私も、授業やレポートの相談をサークル仲間へ何度もしました。私のサークルは少人数なので自分で行動する事柄が多く役割分担は大きいのですが、それ故に学ぶことも多く、コンサートで得ることのできる感動もひとしおです。

学生生活に彩をそえるサークル活動、春日キャンパスで活動するサークルをぜひ覗いてみてください。

石津 忠佳 ISHIZU Tadayoshi

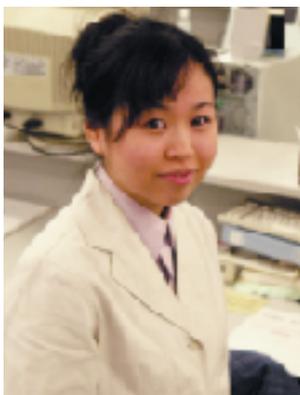
図書館情報専門学群4年

皆さんは図書館情報学を「図書館についての勉強」と考えておられるかもしれません。私の偏見によれば、図書館情報専門学群に入ってくる人の半数以上は「図書館」という言葉に釣られて来るのです（私もそうでした）。

しかし、そのような人は大抵、従来自分の考えていたものと現実の図書館情報学との相違に困惑する事になります。たとえば1年次の授業ではコンピュータ数学やプログラミング言語を学ぶ授業がありますが、私は当初図書館とそれらの授業とのつながりが見出せず、ずいぶん難儀しました。

実際の図書館情報学は極めて広範囲な領域を有する学問です。「図書館についての学問」という、伝統的な図書館学の領域の他にも多種多様な研究領域があり、学生はそれらを幅広く学ぶことを要求されます。「図書館情報学は自分が考えているよりも広い研究領域を有するものなのだ」位の認識を持っておかれた方がよいでしょう。ま、大抵のことは頑張ればなんとかなるんですけどね。

最後にもうひとつ。大学生活は自由なものですが、目標を見失って自堕落な生活に陥りやすいので注意してください。大学で何を学びたいのか、何をやりたいのかしっかり考えて生活することが大学生活を充実させるコツです。



三原 英理 MIHARA Eri

大学院図書館情報メディア研究科 博士前期課程1年 2005年3月図書館情報専門学群卒業

図書館情報学とは何か？入学当初は「自分の好きな本とコンピュータのことを両方学べる」という非常に大雑把なイメージしかありませんでした。今でも説明に困ります。入学当初の私のように漠然とした人も、学ぶうちに興味が広がったり、より具体的なテーマを持ったり、また、思ってもみない自分の問題意識や適性・可能性を見いだしたりするでしょう。「図書館」という名に惹かれ、すでに勉強したいテーマのある人も、最初はあまりこだわりすぎず、視野を広げることでテーマにも深みが出てきます。

「本とコンピュータ」だった私も、数々の授業を受けるうちにコンピュータ寄りになり、卒業研究のテーマは今までにない視点のシステムを構築するというものでした。そのテーマはIPA（情報処理推進機構）の未踏ソフトウェア創造事業に採択され、研究資金の援助を受けています。大学院に進学したり、プロジェクトを担ったりすることは、それまでの私には考えられないことで、ここに来たからこそ得られた経験です。

スポンジのごとく吸収できる今の時期、あなたも知識情報・図書館学類で知見を広め、可能性を伸ばしてみませんか？

田上 文子 TAGAMI Fumiko

鳴門教育大学附属図書館 2005年3月図書館情報専門学群卒業

私は、2005年4月から、司書として大学図書館で働き始めました。私の勤務先は児童図書室も備えており、学内外の幅広い世代の人に利用されています。さらに、利用者へのオリエンテーションも積極的に行なっています。

私は、図書館情報専門学群で学んだことを思い出しながら勤務していますが、もう少し熱心に学んでおけば良かったと思うこともあります。教育学には、幅広い分野の知識が要求されるため、自分の知識の浅さを痛感する毎日です。また、学生の時に考えていたよりも、大学図書館では情報処理の知識が必要とされています。司書は、カウンター業務や目録作業はもちろんのこと、データベースや利用者端末の管理など、さまざまな業務を行なう必要があります。私は、苦手な分野でしたが、在学中に情報処理コースを専攻しました。自分なりに情報処理の勉強をしたつもりでしたが、就職後、さらに情報処理の知識を深める必要があると実感しています。司書を目指す人の中には、情報処理の勉強が苦手な方もいると思います。しかし、情報処理の知識は、現在、どのような職業に就いても不可欠な知識です。学生時代に少し苦勞してでも情報処理の知識・技術を学修することによって、就職活動中や就職後に、自分の強みとして自信を持つことができます。



宇陀 則彦 UDA Norihiko

大学院図書館情報メディア研究科助教 図書館情報大学卒業、修士課程修了、1994年3月博士課程修了

大学に入ると、必修科目を除き、履修する授業は皆さん自身で決められます。つまり、受験勉強とは異なり、勉強したいことを勉強できるということです。図書館情報学は哲学、社会学、心理学、理学、工学と広い範囲にまたがっています。じっくりとカリキュラムを眺め、何を勉強したいのかを思い描いてください。

大学3年の終わりには所属する研究室を決めます。1年間にわたる長い長い卒業研究の始まりです。公共図書館の利用状況を探るためフィールドワークに出かけたり、江戸時代の広告チラシ「引き札」を電子化して資料の新たな魅力を引き出したり、インターネット上の情報から百科事典を作って知識を体系化したりなど、図書館情報学ならではの多種多様な研究ができます。私も昔、研究室選びをしましたが、社会学系、歴史資料系、システム系どれにするかでかなり悩みました。最終的には先生のキャラクターで選びました。よかったのか悪かったのかわかりません。その後、どういふわけか、とうとう大学の先生になってしまい、図書館情報システムの研究をしています。学生からキャラクターで選ばれていないことを祈るばかりです。

宇陀研究室

(博士前期課程2年2名、博士前期課程1年2名、学群4年3名、3年4名)

実りある大学生活を送るためには、自分にあった研究室選びが大切です。図書館情報専門学群では文理を問わず、学生の自主性を尊重して研究室を選ぶことができます。

宇陀研究室では学群生と大学院生と一緒にゼミに参加し、研究報告や議論を活発に行います。冗談が飛び交う和やかな雰囲気の中、一番盛り上がるのは作成したシステムのネーミングだったりします。もちろんゼミ以外の場でも、先生や先輩から多くのアドバイスをいただきます。先生方や学生間のこうした交流は大きな刺激となり、視野を広げる機会を与えてくれます。

4年生になり初めての研究発表会を迎える頃、いよいよ研究室に入り浸りの生活がスタートです。発表準備のため朝から晩まで大学にいてもありますが、疲れたときには同期の友人とお菓子を食べて、お茶を飲み、互いを元気づけます。ときには先生から厳しいコメントをいただいたりもします。けれども、研究室で一丸となって発表練習をサポートし、励まし合って乗り越えます。そして、発表会が終われば楽しい打ち上げが待っています。

研究室での経験を通して、プレゼンテーションスキルと共に、社会を生き抜くために必要な度胸も身に付きます。ここで得られる先生方と学生同士の結びつきは、とても貴重なものになります。みなさんも是非、自分にあった研究室をみつけてください。



3年次編入

図書館情報専門学群

2007年4月に図書館情報専門学群と第3学群情報学類は、知識情報・図書館学類、情報メディア創成学類、情報科学類の3学類からなる情報学群に改組されます。これにともない、1年次生は知識情報・図書館学類として募集し、3年次編入生は2008年度まで図書館情報専門学群として募集します。

図書館情報専門学群の教育

図書館情報学は、「情報」、「知識」、「メディア」に関して、人文社会科学・自然科学・工学などの多様な側面からアプローチする学際的な学問です。図書館情報専門学群では、情報や知識の生成、処理・加工、蓄積、利用にたずさわるスペシャリストを養成します。同時に、広い視野と柔軟な態度を備えた人間として成長しうる人材の育成を目指します。人間が扱う知識や情報はあらゆる領域に及ぶことから、文系や理系といった枠にとらわれず、人間の知的活動にかかわるあらゆる事柄について総合的に学ぶことを基本としています。

カリキュラム

すべての学習の基礎となる基礎科目、図書館情報学の核を構成する専門基礎科目を学んだ後、図書館情報管理主専攻(M)と図書館情報処理主専攻(P)のふたつの主専攻で専門科目を履修します。4年には研究室に所属して卒業研究を行ないます。

図書館情報専門学群では、対象とする教育領域を絞り込んで、人材育成目標に対するイメージを明確にした6つの履修モデルを設定しています。

ML) 情報蓄積・提供機関としての図書館の社会的位置づけ、機能に関する知識を有し、図書館の運用を行なえる人材

- MD) 広くコンテンツの組織化に関する知識を有し、種々のデータベース等の構築を行なえる人材
- MS) 社会的文化的情報活動に関する知識を有し、種々の社会的文化的活動に参画できる人材
- PN) 情報処理技術とネットワーク技術に関する知識を有し、情報システムの開発に関与できる人材
- PC) コンテンツ作成における人間科学的、システムの知識を有し、種々の情報提供活動を行なえる人材
- PA) データを分析的・解析的に扱う手法に関する知識を有し、様々なデータ処理システムの構築に参画できる人材

履修科目は、各自の興味のままに選択するのではなく、履修モデルに応じた10個程度のクラスタ(専門基礎科目と専門科目を内容によってグループ化したもので、平均4科目から構成される)の選択を勧めています。

単位認定

高専、短大、大学等で取得した単位を本学群の単位として認定する制度です。取得した科目の内容と本学群の科目の内容を照らし合わせて、個別に認定します。語学、教養科目、体育等の基礎科目、情報関係、図書館関係の科目は基本的に認定されます。ただし、本学群の科目と内容が大きく違う科目の単位認定は難しいため、本学群と大きく異なる専門出身の場合には認定単位数が少なくなることがあります。2005年度の3年次編入生では、多い人で60単位弱の認定を受けています。



資格

図書館情報専門学群では、以下の資格が取得できます。

- 司書資格
- 司書教諭資格（司書教諭科目＋教員免許状）
- 中学校教諭一種免許状（社会・数学）
- 高等学校教諭一種免許状（公民・数学・情報）

司書資格は、図書館情報管理主専攻なら卒業までの2年間で無理なく取得できます。また、図書館情報処理主専攻でも卒業要件に含まれない単位を10単位程度取ることで可能です。教員免許状は必要とする科目も多く、これらの科目を入学前に取得していない場合は3年以上必要となります。在学年限は編入後4年間ですのでじっくりと取得することをおすすめします。教員免許状を必要とする司書教諭資格も、すでに教員免許状を持っていない場合には3年以上かけてじっくり学ぶ必要があります。

入試

3年次編入学試験では小論文、基礎科目（教養課程程度の英語・数学）、面接による選抜を行います。英語は実用的な力を身につけ、数学はじっくり考える習慣をつけておくことが重要です。小論文と面接では、目的意識と学習意欲を示すことがポイントとなります。

日程

試験		募集人員	出願期間	試験日	合格発表	入試科目
3年次 編入学試験	一般	30名	7/19~21	8/1	8/7	小論文、基礎科目(英語・数学)、面接
	社会人	若干名				小論文、面接

詳細は必ず「筑波大学入学者選抜に関する要綱」及び「筑波大学学生募集要項」(2006年4月公表予定)を参照してください。

30名の一般枠の他に、社会人向け枠が若干名あります。図書館情報学を学びたいという意欲のある人であれば、短期大学、高等専門学校、大学および専修学校など、出身はどこでも歓迎します。

大学説明会

3年次編入生向け:2006年5月

1年次生向け:2006年7月28日(金)

配点

小論文	英語	数学	英語	数学	面接	合計
100	70	70	*60		200	500

*英語または数学を選択

2006年度入学試験状況

一般	志願者	合格者	社会人	志願者	合格者
	60	38		1	1

入試問題について

入手できる問題:「筆記試験」

(「面接課題」等は公表しません)

方法:学校経由で以下に連絡してください。

問い合わせ先

筑波大学 学務部入試課入試第一係

電話 029-853-6007

3年次編入のためのQ&A

Q. 編入学した人の出身は?

A. 年度によっても異なりますが、高等専門学校と短期大学出身者が多いようです。2005年度の場合、高専12名、短大8名、大学中退5名、大卒3名、専修学校2名、社会人1名でした。

Q. 高専から編入してくる人はどういう人?

A. 情報工学科や電子情報工学科のみならず、電子工学科や電気工学科から機械工学科、環境都市工学科といった学科まで多彩です。

Q. 学生宿舎には入れますか?

A. ほとんどの人は最寄りの春日宿舎に入れますが、時として追越宿舎(徒歩約15分)が割り当てられることもあります。

Q. 知り合いは多くできますか?

A. 入学直後の2日間連続のオリエンテーションなど編入生同士が出会う機会が多く、毎年仲良くやっているようです。また、1年生と同じ科目を履修するため、学年を越えた知り合いも沢山できます。

先輩からの声

私は 2004 年 4 月に高等専門学校から図書館情報専門学群に 3 年次編入学しました。3 年次編入学と聞くと新しい環境での不安があるかもしれませんが、しかし、図書館情報専門学群では、1 学年に 30 名もの 3 年次編入生がいることから逆に心強いところが特徴です。私は、高専では、情報を情報工学として学んでいたのですが、図書館情報学という学際的な学問では、自然科学、社会科学、人文科学の視点と幅広い視点から情報を学ぶことができ、ひとつの分野に絞られずに学べるところがとても面白いところです。もちろん、いいことばかりでなく編入学では認定される単位が少ないために勉強に忙しい毎日だったりします。しかし、それ以上に得るものが多い図書館情報専門学群の編入学を考えてみてはどうでしょうか。もしご興味があれば、私が立ち上げている 3 編情報サイト <http://www.3hen.com/> も是非ご覧ください。



川戸 祐介 KAWATO Yusuke
図書館情報専門学群4年



岩本 佳代子
IWAMOTO Kayoko
図書館情報専門学群3年

編入生は、「情報」や「図書館」に関心のある学生が、これまでの専門的知識を活かし、さらに学びを深めようという高い目的意識を持って入学してきます。たとえば、私の場合は公共図書館で行われている読みきかせについての研究をしようと思って編入を選びましたが、ここでは図書館がどう人々に関わっていくのかについてなど、今私たちが生きる情報社会に必要とされる知識や情報に関すること全般についても深く学ぶことができ、とても魅力的です。

編入生は、他の学年と一緒に履修する科目があり、学年の枠を越えて知り合いや友だちが増えます。また、先輩たちも授業や学校生活について親切に色々教えてくれます。

よく「編入はきつい」という言葉を耳にします。これは決してウソではありません。しかし講義を受けたり、友達との付き合いの中でこんなに充実した日々を過ごせるのは、編入ならではの醍醐味だと思います。

私は、大学卒業後いったん企業に就職し、化学の研究職に従事していました。しかし、より世の中に役立つ仕事がしたいという気持ちが強くなり、思い切って仕事をする分野を変えようと考えました。そのための基礎を勉強するためにもう一度大学へ行くことにしたのです。

いま挑戦しようと考えている分野は、使いやすさ(ユーザビリティ)に関する研究です。ユーザビリティに関しては、学際的な知識が必要となります。学際的な知識を学べるのが図書館情報専門学群であると思い、編入学を決意しました。

社会人を経験したことで、講義の内容が社会でどのように活かされるのか、また何に活用できるのか、常に意識しながら受講しています。現役の大学生の頃とはまた違った視点で大学での勉強に取り組めることに新鮮さを感じます。これまでとは違う分野の勉強への対応と久々の学生生活で忙しいですが、その分充実した日々を過ごしています。



坂田 正伸
SAKATA Masanobu
図書館情報専門学群3年

Q. サークルは入れますか?

A. サークルに入っている人は多くいます。

Q. 他学類・他学群の授業は取れますか?

A. 可能です。ただし、短期間に多くの科目を取らなければならない編入生にとっては、現実にはかなり厳しいと思われます。

Q. 情報学類の授業と似たところが多い?

A. 情報学類と似たような名前の科目も開講されていますが、授業内容は異なっています。たとえば、学術情報システムという科目は情報の生成・蓄積・流通・利用といった社会全体のサイクルを視野に入れた内容になっています。

Q. 文系学生はプログラミングや数学が大変?

A. 大変です。ただし、理系か文系かで決まるのではなく、個人のやる気に依存します。例年、文系学生のほうが頑張っています。数学もプログラミングも専門家を育てるためではなく、どのような分野に進むにも必要な数学的な考え方、論理的思考力を養うための科目となっています。

Q. 高専で習った電気の内容は役に立ちますか?

A. 半導体やロボットの研究室もあるので役に立つかもしれません。

春日キャンパスの 施設・設備

吾妻二丁目西
バス停

西通用口

春日非常勤
講師等
宿泊施設

春日学生宿舎
(留学生)

情報メディア
ユニオン

研究棟

駐車場

情報メディアユニオン

情報メディア研究のための基盤施設です。1階にはマルチメディアプラザやメディアミュージアム、2階にはメディアホール、そして3・4階には知的コミュニティ基盤研究センターと共同研究に関連した施設があります。



メディアホール

シンポジウム、講座、研究集会等を行うための施設です。108席すべてに情報コンセントを装備し、コンピュータの画面を投影できる3面の大型スクリーンのほか、デジタルビデオ等の映像・音響設備を備えています。



吾妻小学校前
バス停

春日学生宿舎

知識情報・図書館学類生と図書館情報専門学群生は春日キャンパス内の宿舎に優先的に入居できます。全室個室、家具付き、レンタル電話のほか、LANの設備もあります。共益費を含めて月額約1万4千円です。希望すれば他の地区の宿舎に入居することもできます。



図書館情報学図書館

授業や卒業研究などでフルに活用することになります。図書館情報学を中心とした図書資料はもちろんのこと、映像資料、CD-ROMなどの様々なメディアも充実しています。館内には情報検索用PCも数多く配置され、情報収集と学習のための様々なサービスが提供されています。

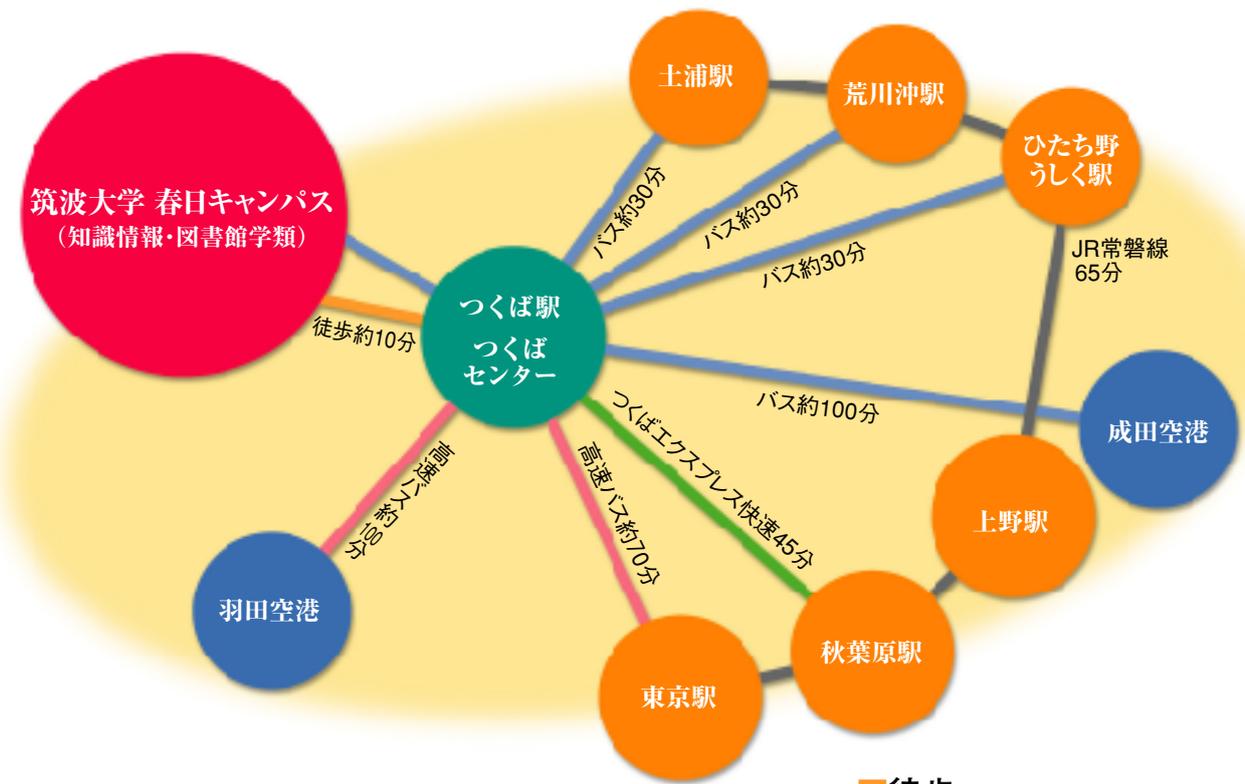


キャンパスネットワーク

春日キャンパス内は高速なギガビットイーサネットに結ばれています。また、建物内の至るところに無線LANの設備と情報コンセントが用意されており、個人のPCを接続できます。このネットワークは他の地区とも高速ネットワークで接続されているほか、インターネットにもつながっています。



筑波大学 春日キャンパス



■ 徒歩

「つくば駅」(A1、A2出口)または「つくばセンター」から徒歩約10分です。

■ 鉄道

秋葉原からつくばエクスプレス 快速に乗ると45分で「つくば駅」に到着します。
JR常磐線 ひたち野うしく駅、荒川沖駅、または土浦駅で下車し、「つくばセンター」行きもしくは「筑波大学中央」行きのバスに乗ると、約30分で「つくばセンター」に到着します。

■ 高速バス

東京駅八重洲南口高速バスターミナル発「つくばセンター」行きに乗ると、約70分で「つくばセンター」に到着します。また、「筑波山」行きに乗ると、同じく約70分で「吾妻二丁目西」に到着します。

■ 車

常磐道「桜土浦IC」で降り、東大通りを約5.2km北上し、左折して北大通りに入り、2つ目の信号を左折すると「筑波大学春日キャンパス」に到着します。

■ 飛行機

羽田空港からは高速バスで、成田空港からはバスで「つくばセンター」まで約100分です。

お問い合わせ

〒305-8550 つくば市春日1-2
筑波大学 図書館情報等支援室
 TEL:029-859-1110 FAX:029-859-1162
<http://klis.tsukuba.ac.jp/>
 E-mail ug-info@klis.tsukuba.ac.jp